

令和4年秋の叙勲 受章者発表

この度の栄えある受章、誠にありがとうございます。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

旭日双光章 (地方自治功労)



児玉 裕一

・秋田県仙北平野土地改良区
副理事長

瑞宝単光章 (統計調査功労)



小林 憲二

・北秋田郡上小阿仁村土地改良区
前理事長

「会計指導員が行う土地改良区の指導監査」について

令和5年度から指導監査を希望する土地改良区は、
12月末まで「協議申請書」を提出してください!

- 平成31年4月1日施行の改正土地改良法において、土地改良区は令和5年度の通常総会終了時まで、原則として員外監事を選任することとなりました。
- ただし、選任を行わない例外の一つとして、「農林水産大臣が定める基準」に従って地方連合会から会計に関する指導を受ける場合が該当となります。
- 本会では、同基準に適合する指導監査を行うため、「**会計指導員が行う土地改良区の指導監査に関する実施規程**」(令和元年8月29日理事会承認)を制定しました。
- 同実施規程については、既に各土地改良区に送付し内容をご確認いただいておりますが、詳しくは本会ホームページ (<http://www.akita-midori.net/>)・会員専用サイトをご覧ください。(同サイトから協議申請書のダウンロードが可能です)

【指導監査の契約締結までのスキーム】

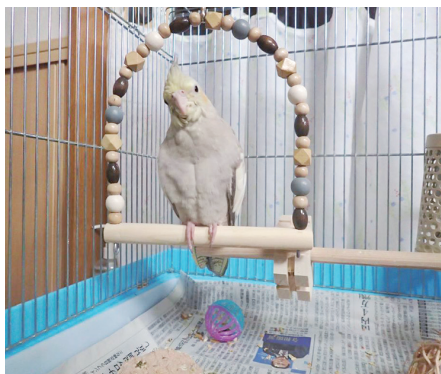


- ※ ① 指導監査を希望する土地改良区は協議申請書を連合会に提出(原則、指導監査実施年度の前年度12月末まで申請)
- ② 申請書に記載の指導監査リスク細目、監査実施時期等を土地改良区と連合会で協議し合意形成を図る
- ③ 協議結果を3月開催の管理運営体制強化委員会に報告し承認を得る
- ④ 指導監査に関する契約を土地改良区と連合会で締結

私の癒やし

秋田県雄物川筋土地改良区

小田嶋弥生



新型コロナウイルス流行前は社会人となつた子供達のところへ行くのが私の気分転換でした。しかし、新型コロナウイルスの終息が見えず、思うように外出ができない時期が続いています。そんな中、私の家での癒しはオカメインコのクーちゃんです。

我が家にはオカメインコのノンちゃんがいきましたが、今年の7月に天国へ旅立っていききました。ノンちゃんがいなくなつてしばらくは家の中の空気が一気に暗くなり、結局家族で相談して新しいオカメインコを迎えること

にしました。その後9月25日に生後2週間のクーちゃんが家にやってきました。両手で包み込むと隠れてしまうほどの大きさの雛鳥で親鳥を呼ぶようにピーピー鳴き、すこし騒がしい気もしましたが、ノンちゃんが亡くなつてから暗くなつた家の空気が一気に明るくなりました。

クーちゃんは自分で餌を食べることができないため、家族で協力しながら餌を与えました。今では自分で餌を食べることができたり、おもちゃで遊んだり水浴びをしたり、かなり成長しました。時には頭をグリグリしてほしくて鳥かごにへばりついてアピールしてきます。好奇心旺盛で物怖じしないクーちゃんを見ると癒やされ気分転換になります。毎日とともに過ごすペットは、大事な家族の一員であり、手がかることもありますが、大切に育てていきたいと思えます。犬や猫がペットの主流ですが、オカメインコもかわいいですよ。

連 合 会 日 誌

10月20日	農業農村整備の集い	東京都
10月21日	全国水土里ネット女性の会研修会	東京都
11月17日	仙北支部役員講習会（～18日）	仙北市
11月17日	鹿角、大館・北秋田支部役員講習会（～18日）	鹿角市
11月18日	令和4年度農業農村整備優良コンクール選定審査	Web会議
11月21日	全国土地改良大会沖縄大会（～24日）	沖縄県

..... 今後の行事予定

11月28日	仙北支部職員講習会	大仙市
11月29日	山本支部役員講習会	大潟村
11月30日	由利支部役員講習会	由利本荘市
12月2日	鹿角、大館・北秋田土地改良区職員会事務研修会	大館市
12月2日	秋田支部職員講習会	秋田市
12月5日	平鹿支部役員講習会	横手市
12月7日	秋田支部役員講習会	秋田市
12月8日	第3回正副会長会議	本会役員室
12月9日	雄勝支部役員講習会	湯沢市
12月15日	第5回監事会	本会第2会議室
12月15日	第3回理事会	本会第1会議室



仏蘭西菓子 La France

水土里レポーター：秋田市旭川筋土地改良区
会計主任 齊藤 翔平

私が紹介するお店は、秋田市広面郵便局の近くにある“仏蘭西菓子 La France(ラ・フランス)”で、ケーキと焼菓子を豊富に揃えたお店です。

季節に応じて旬のフルーツをまるごと使ったケーキは見た目のインパクトと甘過ぎる事のないクリームで食べ応えがあります。お近くにお寄りの際はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



リレー vol.31 感想文



TVから「ここに来れば肉声が聞ける」とのつぶやきが聞こえた。IT業界の人らしい。

気になって調べると、かつては「機械を通さない生の声」の意味が、「人工的ではない人が出す声」に変化してきているらしい。僕は夢を食べて生きる空想の動物だが、人は言葉を食べる動物なのかもしれない。誌面を紹介、会話が聞こえるようで楽しかった。

秋田県多面的機能支援協議会

齋藤 透

編集後記

1年とはあっという間で、気が付けば2022年も残り1ヶ月となりました。今年は「種苗交換会」もコロナ前を思い出させるような人の多さで活気に満ちあふれており、私自身、とても懐かしい気持ちになりました。県内外、沢山の方がブースに足を運んでいただきましたが、中でも若い学生の方々が「土地改良」という分野に興味を持って質問などしていただけたのはとても嬉しい出来事でした。

さて、これから冬本番を迎え、ますます寒くなります。関係者の皆さま、会員の皆さまにおかれましては体調を崩されないよう気をつけ、これから来る年末年始が楽しいものになることを願っております。

来年も水土里ネット秋田をどうぞよろしく願います。

(政策・広報班 寺澤)

